

第1回「道央ロジスク」を開催します

～共同輸送等をさらにもう一步進めるマッチングイベント第2弾～

北海道開発局では、「生産空間」を支える物流のサービス水準確保を目的に様々な取組を進めています。

今回、令和5年10月6日に旭川で開催した「第1回道北ロジスク※」（別紙3参照）の続編として、道北で生産された農水産品等の受け手側となる道央側で初開催します。

※「ロジスク」（別紙1参照）とは、ロジスティクス＋スクラムを意味する造語で、物流事業者、行政、学識経験者等で構成する「共同輸送・中継輸送実装研究会」において提案された、共同輸送・中継輸送の実現に向けての企業間のマッチングイベントです。このイベントを通じて、研究会では共同輸送等の問題点、課題等の解消を目指しています。

- 1 日時 令和5年12月4日（月）14時00分から17時00分
- 2 場所 札幌市北区北7条西1丁目2-6 NCO札幌11階会議室
- 3 出席者 物流に課題を抱える物流事業者や荷主企業（別紙5参照）
- 4 内容 物流維持方策について意見交換を実施（別紙4参照）
- 5 その他 イベント中は個別企業情報を含むことから非公開としますが、意見交換内容を全体共有する16時30分頃からは取材可能ですので、お時間までにお集まりください。取材を希望される方は、12月1日（金）12時までに取材申込書（別紙6）に必要事項を記載の上、(hkd-ky-seisankuukan@gxb.mlit.go.jp)まで申し込みをお願いいたします。

※ご提供いただいた個人情報は、当日の参加確認に使用させていただき、他の目的には使用いたしません。

＜これまでの経緯＞（別紙2参照）

北海道開発局では、生産空間の維持・発展を目指し、地域課題の解決に向け3つのモデル圏域で先導的取組を推進することとし、名寄周辺モデル圏域においては、最大の地域課題である「持続可能な物流システム構築」をテーマとしました。

地域の関係者・物流事業者と連携して中継輸送等の実証実験等の検討を重ね、さらに「持続可能な物流システムを本格運用」することを目指し、物流事業者、行政、学識経験者からなる「共同輸送・中継輸送実装研究会」を設立。企業間の連携が共同輸送等の実現に向けて必要なことから、ワークショップによる物流事業者間のマッチングモデル「ロジスク」を提案しました。生産空間で生産された農水産品等は「道北」から「道央」、「道央」から「本州」へと経由して運ばれるため、道北（旭川）での開催に引き続き、今回は道央（札幌）で開催いたします。

※昨年度までの取組状況

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/keikaku/slo5pa000007uuh.html>

※「生産空間」について

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/keikaku/splaat0000013gzk-att/splaat0000013h6g.pdf>

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

開発監理部 開発調整課 開発企画官 三岡 照之（内線5472）

開発監理部 開発調整課 開発専門官 畠山 浩和（内線5477）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



ロジスク



共同輸送・中継輸送実装研究会
北海道開発局

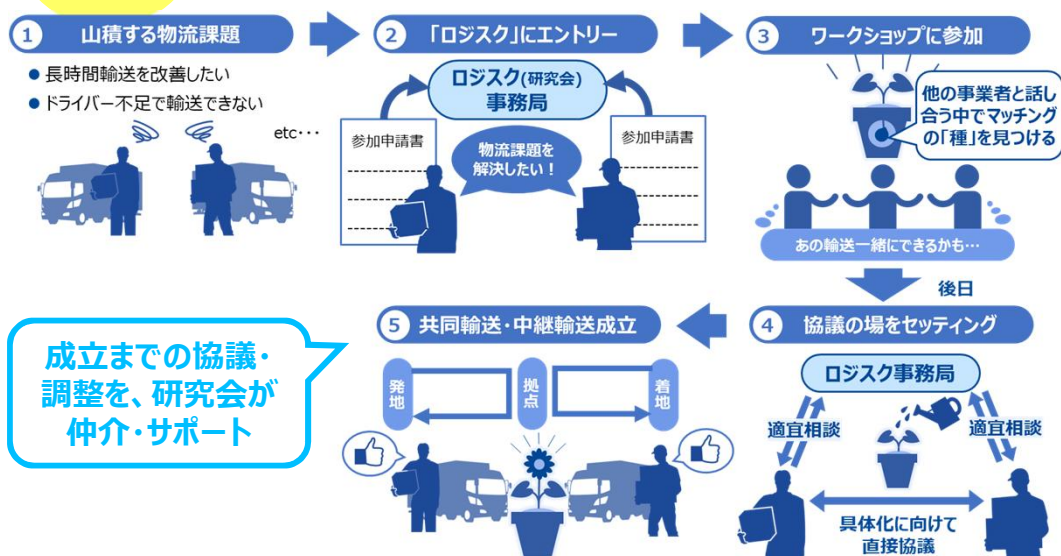
「2024年問題」にお困りではないですか？

- 2024年4月から、トラックドライバーの労働時間が制限されることを受けて、2023年7月、道内の物流事業者や学識者、行政等による「**共同輸送・中継輸送実装研究会**」が発足しました。
- 研究会では、共同輸送・中継輸送の実現に向けて、ワークショップによる物流事業者間のマッチングモデル「**ロジスク**」(ロジスティクス+スクラム) をスタートさせました。

「ロジスク」が他社様とのマッチングをお手伝いします

- 「ロジスク」は、物流課題や、共同輸送・中継輸送したい品目・ルート等について、物流事業者同士が**少人数のワークショップ**で話し合える場を提供します。
- 従来の車両マッチングアプリ等とは異なり、マッチング成立→共同輸送・中継輸送の実現まで、行政を含む**研究会がサポート**することで、継続性・信頼性の高い協力体制づくりを目指します。

「ロジスク」の参加イメージ



「ロジスク」にご参加ください！

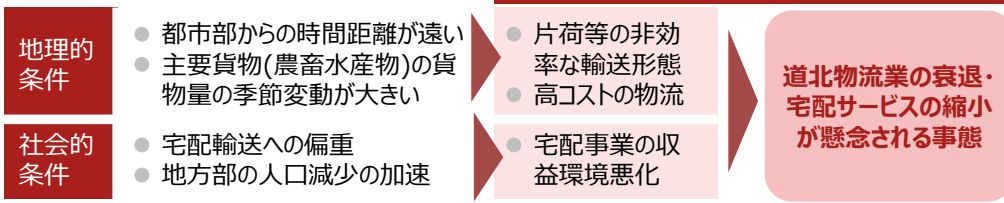
- ロジスクは多くの事業者の皆様の参加をお待ちしています。
- お問い合わせ、参加のご希望は、下記までご連絡ください。

北海道開発局 開発監理部 開発調整課
 TEL : 011-709-2311 (内線5477)
 E-mail : hkd-ky-seisankuukan@gxb.mlit.go.jp

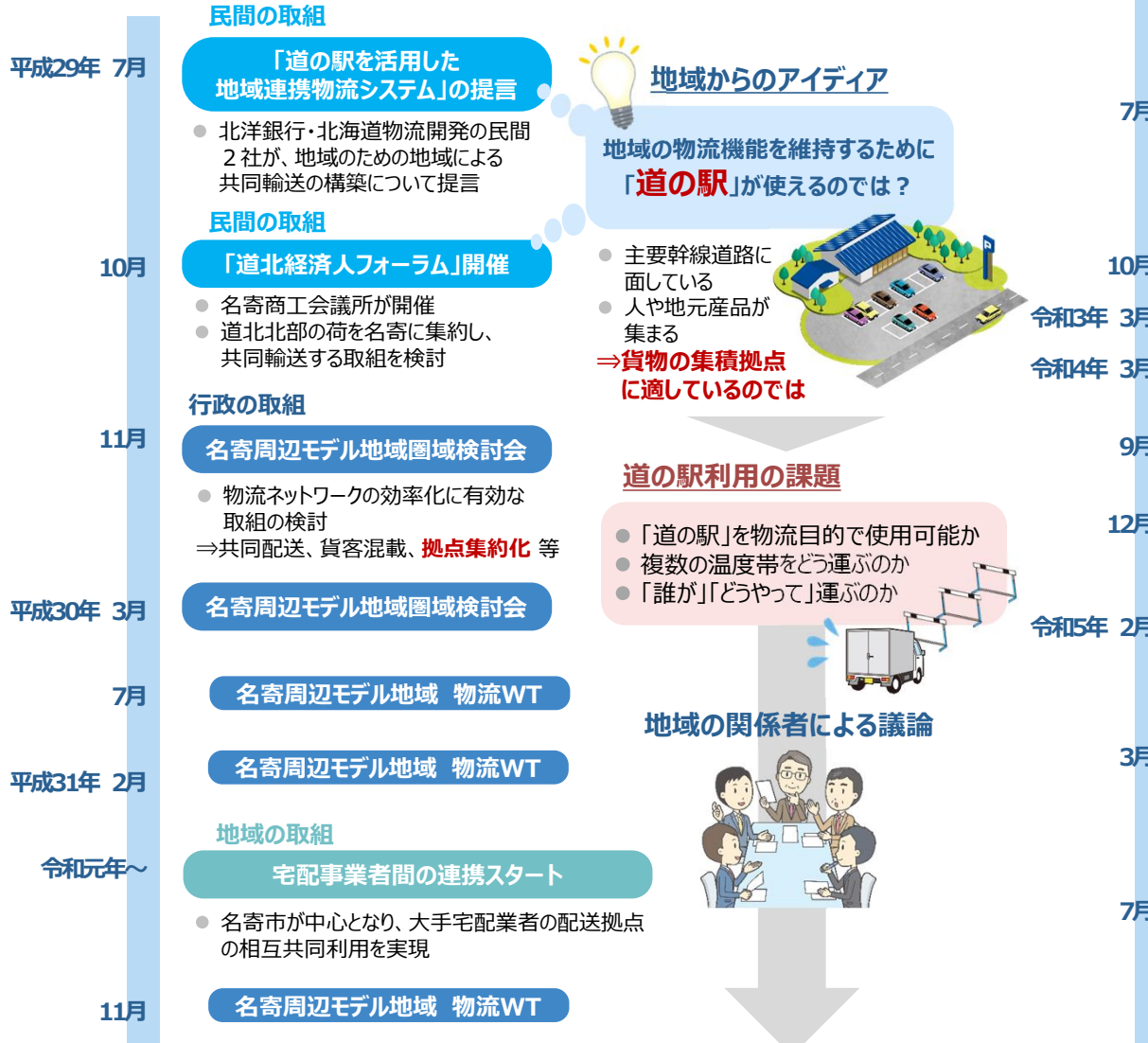


すくすく、ロジスク

道北地域の恒常的な物流課題



名寄周辺を核として課題解決に向けた検討と取組がスタート



令和2年

共同輸送実証実験

- トラック運行状況、積載物の状況、積載率からトラックの空きスペースを利用した混載輸送の可能性を確認し、『道の駅トラック時刻表』を作成
- 時刻表を活用し、道の駅「もち米の里なよろ」を物流拠点として、名寄以北の共同配送を試行



共同輸送の調査・試行によって道の駅の「物流拠点」としての利用可能性を検討

地域の取組

道北圏域ロジスティクス総合研究協議会 設立

- 地元民間企業を中心とした検討体制も構築

名寄周辺モデル地域 物流WT

名寄周辺モデル地域 物流WT

名寄周辺モデル地域 物流WT

名寄周辺モデル地域 物流WT

名寄周辺モデル地域 物流WT

名寄周辺モデル地域 物流WT

産学官の取組

「共同輸送・中継輸送実装研究会」設立

- 持続可能なシステムとするために、より多くの民間事業者の参画を求めながら、マッチングの仕組みづくりを行うため、検討・実証を行う

「ロジスク」誕生

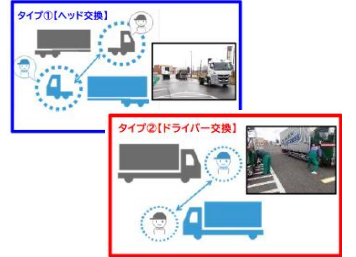
- 物流課題や、共同輸送・中継輸送したい品目・ルート等について、物流事業者同士が少人数のワークショップで話し合える場を提供

新たな物流課題

- トラックドライバーの不足
- 2024年問題

「道の駅」等を活用した小ロット貨物の効率化や中継輸送の実証・可能性検討、道北物流調査

中継輸送実証実験



- 「道の駅」において、様々な中継方式(ヘッド交換・ドライバー交換等)/輸送経路で中継輸送の実証実験を実施。効果を確認。



物流事業者、行政、学識経験者等で構成する「共同輸送・中継輸送実装研究会」において、物流事業者同士が2024年問題解決のため、共同輸送・中継輸送の実現に向けて話し合うマッチングイベント「ロジスク」*の道北地域における第1回を開催しました。

*「ロジスク」とはロジスティクス+スクラムを意味する、共同輸送・中継輸送実装研究会による造語です。



- 1 日時 令和5年10月6日(金) 10:00~12:00
- 2 場所 旭川合同庁舎 東館1階入札執行室・2階第1会議室
(旭川市宮前1条3丁目3-15)
- 3 出席者 道北方面の物流に課題を抱える物流事業者や荷主企業(25の企業、団体等から55名が出席)
- 4 内容 2つのテーマに分かれて意見交換

5 開催結果

(1)道北地域の物流維持方策について

道北での農水産品輸送の維持や共同輸送・中継輸送等の効率的で持続可能な輸送手法の構築に向けた事業者間のマッチング

※3,4社程度のグループに分かれて話し合い。20分毎に席替えを行うことで、なるべく多くの企業とマッチングを実施。

議題

- ・季節変動(ある時期は荷物が多いが、ある時期は荷物が少ない状態)、片荷輸送(産地からの荷物はあるが、産地への荷物がない状態)など農水産品特有の課題を抱える事業者同士が互いに荷物を補い合うことで積載状況を改善
- ・事業者同士が協同し、トラックドライバーの長距離・長時間輸送の軽減につながる中継輸送を実現
- ・加工、輸送、保管、通関等の物流の一連の流れに必要な機能を事業者同士が補完、あるいはモーダルシフト等の輸送手段の転換により各事業者の抱える課題を解消 等

(2)中継拠点のあり方について

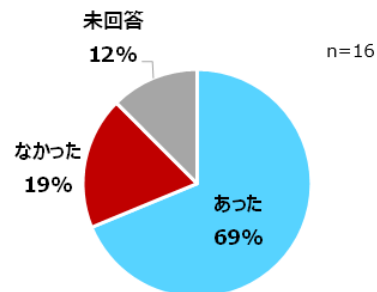
過年度までの調査により明らかになった中継拠点の配置ニーズが高そうなエリアにおいて、拠点に求められる機能等の検討

議題

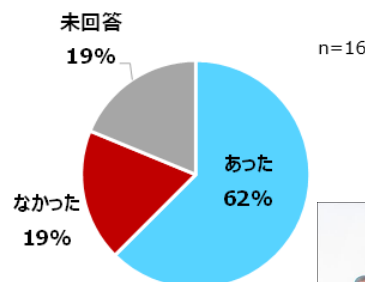
- ・中継拠点に必要な機能・設備
- ・中継拠点の運営・管理あたりの役割分担 等

Q.マッチングについてお伺います。

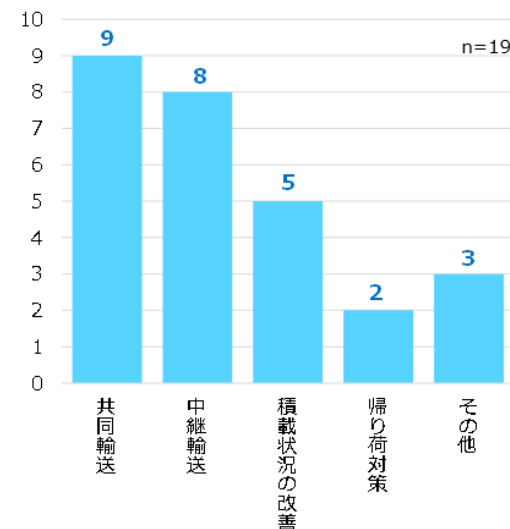
(1) マッチングできそうな企業はございましたか？



(2) マッチングが実現するかは不明でも、もう少し業務について話したいと思った企業はございましたか？



Q.「第1回道北ロジスク」を通じて実現しそうな取り組みはございましたか？(複数回答)



第1回「道央ロジスク」実施内容

「2024年問題」を見据え、物流課題を共有し、共同輸送や中継輸送の実現に向けたマッチングのお手伝いのため、2つのテーブルを設定し、参加する15事業者等が意見交換を行います。

(1) マッチング時間 14:10～

① 広くマッチング先を見つけるテーブル (20分×4回)

3, 4者程度のグループに分かれて話し合い、途中、席替え等を行うことで、メンバー全体となるべく多く交流できるようにします。

② 特定先との商談を次の段階に進めるテーブル (1時間半の時間内自由に議論)

10月6日開催の第1回「道北ロジスク」等においてマッチングの種が見つかった事業者間で、共同輸送・中継輸送等のより具体化に向けて1対1形式で商談できるようにします。

想定議題

- ・ 季節変動 (ある時期は荷物が多いが、ある時期は荷物が少ない状態)、片荷輸送 (産地からの荷物はあるが、産地への荷物がない状態) など農水産品特有の課題を抱える事業者同士が互いに荷物を補い合うことで積載状況を改善
- ・ 事業者同士が協同し、トラックドライバーの長距離・長時間輸送の軽減につながる中継輸送を実現
- ・ 加工、輸送、保管、通関等の物流の一連の流れに必要な機能を事業者同士が補完、あるいはモーダルシフト等の輸送手段の転換により各事業者の抱える課題を解消

等

(2) 交流時間 15:40～

第1回「道北ロジスク」の際に、「マッチング時間が足りなかった」等のご意見を多数いただいたことから、マッチング時間の後、自由に交流できる時間を設けています。

第1回「道央ロジスク」参加企業等一覧

令和5年11月20日現在

参加企業等名	備考
イオングローバルSCM株式会社	
エア・ウォーター物流株式会社	
北見通運株式会社	
幸楽輸送株式会社	
札幌新聞輸送株式会社	
株式会社シズナイロゴス	
全国通運株式会社	
株式会社道北物流	
苫小牧埠頭株式会社	
日本貨物鉄道株式会社	
富良野通運株式会社	
北海道新聞社 ^{※1}	
北海道物流開発株式会社	
ヤマト運輸株式会社	
SBSフレックネット株式会社	
(以上、五十音順)	
【オブザーバー参加企業等】	
イオン北海道株式会社	
苫小牧港管理組合	
富士通株式会社	
北見工業大学 地域未来デザイン工学科・社会インフラ工学コース 教授 高橋 清	座長 ^{※2}
北海道経済産業局	
北海道運輸局	
名寄商工会議所	事務局 ^{※2}
北海道開発局	事務局 ^{※2}

※1 北海道新聞社は報道機関としてではなく、新聞輸送事業の荷主として参加

※2 共同輸送・中継輸送実装研究会(事務局は、名寄商工会議所、名寄市総合政策部、北海道開発局)

北海道開発局 開発監理部 開発調整課 あて

(Mail: hkd-ky-seisankuukan@gxb.mlit.go.jp)

取材申込書

取材を希望する場合は、この様式により上記連絡先までメールでお申し込みください。
申込み締め切りは、12月1日(金) 12時までです。

会社名及び部署名

取材者 役職・氏名（全員の役職・氏名を記載願います）

①（代表者）

②

③

連絡先（代表者の連絡先）

テレビカメラの持ち込みの有無

（該当するものに○をつけてください） 有 ・ 無

※ご提供いただいた個人情報は、当日の参加確認に使用させていただき、他の目的には使用いたしません。